

with fukushima



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

第 2 号

応援職員広報



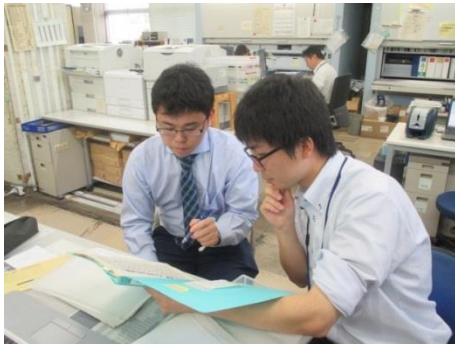
相馬野馬追

(南相馬市 雲雀ヶ原祭場における甲冑競馬の様子)

相馬地方を代表する祭事である『相馬野馬追』は毎年7月の最終週に開催され、今年は7月27日(金)から29日(日)まで行われました。

千年以上の歴史があり、国の重要無形文化財にも指定されています。500余騎もの騎馬武者が先祖伝来の旗指物をなびかせ疾走する甲冑競馬や、空高く打ち上げられた御神旗を奪い合う神旗争奪戦は、圧巻の迫力です。

東日本大震災直後は開催も危ぶまれましたが、徐々に以前の姿を取り戻してきており、福島県の復旧・復興が着実に進んでいることを実感します。



Information																					
	飯館村	新地町	浪江町	双葉町	大熊町	富岡町	楢葉町	広野町	川俣町	南相馬市	相馬市	福島市	目次								
	p 11	p 10	p 9 ~ 10	p 8 ~ 9	p 8	p 7	p 7	p 6	p 5 ~ p 6	p 5	p 2 ~ p 4	p 2	p 2	p 1							



- ① 所属課（業務内容）
- ② 派遣元団体（出身地）
- ③ 派遣期間

福島市・相馬市・南相馬市

ながさわ まさき
永澤 正規

- ① 環境部除染施設整備課（除染土仮置場の設計・監督）
- ② 神奈川県
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

福島市

私はこれまで、民間の建設会社に従事し宮城沖地震（1978年6月）、新潟県中越地震（2004年10月）を間近で経験してきました。

最後は復興の仕事に力を注ぎたく3年前に神奈川県の災害支援に応募し派遣職員として岩手県宮古市で防潮堤建設に微力ではありますが従事していました。

その時に、福島県は原発事故の被害で除染土の運搬が本格化している話を聞き、今年の4月から福島市での除染の仕事を希望し、市民の皆様の協力のもと市の職員と共に早い時期に除染土収集、運搬業務を終結させ、福島県本来の姿に戻って行く事のお手伝いをしたいと思っています。



たにぐち ゆうき
谷口 雄紀

- ① 建設部土木課（復興道路用地事務担当）
- ② 岡山県総社市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

相馬市

派遣元自治体では土木課に所属していました。この経験を活かし、復興事業の力になりたいと思い、相馬市に派遣していただくこととなりました。

職場ではメンバーに支えていただきながら、楽しく業務に取り組ませてもらっています。

派遣期間は1年と短いですが、自分の能力を発揮して復興事業に貢献できるように努めます。



こうご なおと
向後 直人

- ① 経済部観光交流課（相馬野馬追の振興、交流自治体との交流など）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

被災地のために少しでもお役に立ちたい、そしてその中で何かを得て自分の力にしたい、という気持ちで南相馬市役所への派遣を決めました。南相馬市一番の行事である相馬野馬追や、交流自治体との関わりなど、とても面白い仕事をさせていただいています。

また、貴重な機会ですので、仕事以外でも福島県の様々なところを見て回り、今後関わる人に福島の良さを伝えていきたいと思っています。



南相馬市

きたむら けんた
北村 健太

- ① 市民生活部市民課（各種証明書の発行・住所異動対応）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

東日本大震災時、当時郡山で学生の時に被災しました。学生時代は警察所属の学生ボランティアに所属し、復興に貢献してきました。

杉並区に入庁し4年間、今の市民課と同じ区民課で窓口対応に従事していました。

今まで培ってきた窓口対応の知識と担当していた個人番号関係の知識を生かし、南相馬市の市民サービス向上と同時に震災復興の一つの力になればと思い志願しました。



ひるま はやと
比留間 勇人

- ① 復興企画部被災者支援・定住推進課（移住定住の推進）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

就職後初めての上司が杉並区⇒南相馬市の派遣経験者だったことがきっかけで、南相馬市⇒杉並区の派遣職員の方と繋がり、実際に南相馬市のイベントに参加するなど縁が出来ました。

暖かく、程よくおせっかいで、逆境にも負けない元気を持った人たちがいる南相馬市が好きなので、「だったらいっそ南相馬市で働いちゃえ！」と思い立ち、派遣を志望しました。

「ヨソモノ」目線で南相馬市の良さをPRし、一人でも多くの方に向けていただけるよう努力します。



しばた ふみかず
芝田 文一

- ① 復興企画部危機管理課（地域防災計画の作成）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

平成23年3月11日東日本大震災の発生時は杉並区危機管理対策課に所属して、南相馬市へは微力ながら支援させて頂きました。

今年度からは、南相馬市の職員として尽力したく派遣職員となりました。職場の方々に、お気遣いいただき働きやすい環境の中で仕事を進めています。

暖かい気候・人柄の中で、災害に強い安全・安心な南相馬の推進に取り組んでいきたいと思います。



南相馬市

あべ ともや
阿部 智哉

- ① 復興企画部危機管理課（消防団に関する事務等）
- ② 東京都青梅市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

行政職員となって数年が経ち、違った環境で勉強したい、その中で少しでも復興の役に立てればと思い、今回南相馬市に来ました。

現在、配属された課では温かく迎えていただき、毎日楽しく仕事をさせていただいております。日々、ありがたく感じているところです。

短い期間ではありますが一日でも早い復興のため、微力ながら一所懸命に取り組んでいきたいと思っております。



いわさき あきら
岩崎 明

- ① 経済部商工労政課（工業団地造成に関すること）
- ② 神奈川県相模原市
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

昨年3月末に定年を迎えたことを契機に、今まで相模原市の職員として培った経験を、少しでも被災地のために役立てることが出来たらと思い、昨年度から福島県にやって来ました。浜通りでは復旧・復興に向け様々な取り組みを行っており、その中で、現在「福島ロボットテストフィールド」に関する事に携わり、将来に向けたまちづくりを市民や職員の方々と共に築いていきたいと考えています。



ひろの ともひろ
平野 智大

- ① 建設部下水道課（下水道施設の設計施工に関すること）
- ② 愛知県知多市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

東日本大震災の報道を目にし、私にも何かできることがあればお手伝いしたいと思って希望しました。

実際に南相馬市に来るまでは、正直なところ不安もありましたが、役場のみなさんに温かく迎えていただき、新しい環境にも慣れることができました。福島県は自然豊かで、ドライブしていてとても気持ちがいいです。1年間かけて福島県を見て回りたいです。

微力ではございますが、南相馬市の復興に尽力していきます。



川俣町・広野町

つづりぎ しんや
綴木 慎也

- ① 総務課（災害記録誌の作成・防災計画の改定等）
- ② 東京都中央区
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

川俣町

山に囲まれるなど豊かな自然に恵まれている環境を、とても気に入っています。

職場は若い職員が多く、活気が溢れており、居心地の良い職場です。仕事で困ったことがあっても教えていただいております、助けられています。

仕事に関しては責任ある業務を担当させていただいております、復興の一助になるべく業務に励み、休日には町内はもとより県内の様々な場所を訪れ福島の良いところを知るべく、旅行に徹します。



だいぼ つよし
大保 剛

- ① 復興企画課（復興事業に係る建設業務等）
- ② 宮崎県日向市
- ③ 平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

広野町

私は入庁して8年目となり、今回派遣の話を受けた時の率直な気持ちとしては、まだまだ未熟な私が赴任したところで足手まといになるのではないかと不安な気持ちでしたが、周りの方々に支えられ日々楽しく仕事することができています。震災から7年が過ぎ、着実に復興に向けて進んでいる中、少しでもお力添えできたらと思っています。半年と短い任期ではありますが、微力ながら一生懸命頑張ります。



はたさこ かずき
畑迫 一毅

- ① 復興企画課（復興にかかわる建設・企画）
- ② 宮崎県宮崎市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

広野町

震災当初より、私にできることは何かないかと、ずっと考えていたことから派遣を希望しました。

4月の着任早々、「わっしょい、わっしょい」と、今年復活した地元の祭で御輿を担ぎ、地元の方々と交流しております。慣れない土地・気候での業務であり、1年と短い期間ではありますが、一日一日を大切にしながら町の復興、まちづくりをハード・ソフトの両面からお役に立てればと考えております。



震災後、初めて再開した「浜下り神事」

広野町・檜葉町

しらき けん と
白木 健人

- ① 総務課（市町村職員共済・職員健診の事務等）
- ② 岐阜県岐阜市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

広野町

岐阜で育った私にとって、通勤中に海が見えることが、数ヶ月経った今でも新鮮です。派遣元に比べ業務が幅広いため、勉強になることが多く、そこにやりがいを感じます。また、職場は若手職員が多く、分からないことは気軽に質問できる環境にあり、とても仕事がしやすいです。微力ながらも広野町のお役に立てるよう、精一杯業務に取り組みます。



せきや ひろあき
関矢 博明

- ① 暮らし安全対策課（ごみ・公害等の環境関係）
- ② 新潟県柏崎市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

檜葉町

暮らし安全対策課は、ゴミ・公害・放射線・畜犬など、今まで自分が携わってきた水道とはあまり関係のない仕事ばかりですが、若い職員が多く、皆さん仕事も手際が良いので、いろいろと教えていただきながら、日々職務に当たっています。

福島県で生活するのは初めてですが、こちらは温暖な気候で過ごし易い感じがします。また、機会を見つけて県内の百名山でも登ろうかと考えています。



いまざと すみえ
今里 澄江

- ① 住民福祉課(保健師業務)
- ② 栃木県足利市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

檜葉町

檜葉町に来るまでは、福島県の現状をまったく知らず、自分に何ができるのか、とても心配でした。しかし、役場の職員や住民のみなさんが、温かく接して下さるおかげで、楽しく過ごせています。長く避難生活をされていた住民のみなさんが、「町に戻ってよかった！」と生活できるように、微力ながら応援させていただきたいです。



富岡町・大熊町

かみじょう としぶみ

上條 利文

- ① 復旧課（町道災害復旧事業）
- ② 福島県（長野県）
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

富岡町

東日本大震災の復旧・復興のお手伝いをお願い、復興庁から3年間の派遣（福島市役所勤務）を経て、昨年より福島県の派遣で富岡町役場に勤務しております。

福島県は自然豊かで、食べ物もおいしく、特に当地は年間を通じ穏やかな気候でとても生活しやすい場所ですが、原発事故に伴う様々な問題により復旧・復興にはかなり時間がかかると思います。微力ではありますが、何かお役に立てればと考えております。



きたじま やすゆき

北島 裕行

- ① 復旧課（河川事業のうち水路改修工事）
- ② 福島県（東京都）
- ③ 平成29年4月1日～平成31年3月31日まで

富岡町

南相馬市での3年の業務を経て、町の一部を除き帰還困難区域が解除された平成29年4月1日に富岡町に赴任しました。当初は夕方の役場庁舎駐車場に猪の子供連れがヘッドライトにも逃げる様子はなく、闊歩する姿に驚きました。1年2か月が経過し、震災前の人口の5%程が帰還しています。生活感はまだ感じられないものの、男性ばかりしか見られなかったさくらモールとみおかにも週末に女性や子供連れの買物客が目につくようになりました。新築のアパートに新しい住民も増え始めた富岡町です。



よしむら ひろあき

吉村 浩章

- ① 復興事業課（工事施工管理など）
- ② 福島県（大阪府）
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

大熊町

前は岩手県に居て、南下したくて福島県を受験、縁あって大熊町派遣となりました。福島県に来てみて、“一にも二にも線量”というのが第一印象です。職場の雰囲気は、扱っている事柄がデリケートなためでしょうか、慎重で、心優しい感じがします。庁舎はいわき市内にあり、バス通勤をしています。福島県では〇〇をやってみたい、というものが未だ思い当たらず、任期満了までに福島らしいことが体験できれば、と思っています。



双葉町・浪江町

さくらい きよし
櫻井 清

- ① 生活支援課（自治会との連絡調整事務、仮設住宅維持管理・入退居支援業務）
- ② 茨城県かすみがうら市
- ③ 平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

双葉町

定年退職しても自分が役に立てる仕事があり応募したのが派遣の動機です。

被災地の職場ではあるが、穏やかな環境で仕事をさせて頂いています。郡山支所・埼玉支所があり震災当時町民が全国に散らばっていたことを実感した。

福島のおいしい酒と魚を十分に堪能し、近隣のゴルフ場でも十二分にプレイしたい。

県全体で震災の復興に取り組んでいることも実感できた。



ひがしで たかひろ
東出 堯大

- ① 教育総務課（文化財保護業務、芸術及び文化振興に関する業務）
- ② 福井県敦賀市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

双葉町

生涯学習関連の業務で、双葉町民の皆様と直接お話しできる機会も多く、やりがいがあり、とても楽しく仕事をしています。

職場環境もとてもいい雰囲気です、冗談を言い合いながら過ごしています。

休みの日も旅行に出かけたり、新しいお店を開拓したりと知らない土地を満喫しています。

今後も自分の能力を最大限に発揮して業務に取り組んでいきたいです。



かんだ まさひろ
荻田 雅弘

- ① 産業振興課（イベント事業、プレミアム付商品券事業 等）
- ② 岡山県赤磐市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

浪江町

平成29年3月に浪江町の避難指示が一部解除となったが、自分が考えているより実際の復興は未だこれからの状況であり、少しでも力になればと考えた。

東北地方なので、もっと寒いとかと思っていたが、岡山と似た気候がとても過ごしやすく感じる。

浪江町・福島県はもちろん、東北地方の様々な場所・イベントに訪れ、美味しいものを食べたりしたい。



浪江町

ほ さ か か ず お
保坂 一男

- ① 住民課（固定資産税賦課・減免、被害家屋調査業務等）
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

浪江町

以前から被災地派遣を希望していましたが、公私共になかなか条件がそろわず実現しませんでした。今年定年退職となり、再任用でこちらに派遣となりました。ただ、川崎市としては初めての派遣自治体でしたので、色々ありましたが何とか着任することができました。こちらでは、昨年避難指示が解除になり、復興が始まったばかりで私の担当する固定資産税(家屋)についてはこれから忙しくなるようです。何か自分がしたことを残したいとは思いません、ただ少しでもお役に立てればと思い日々を過ごしています。



ふ る か わ か つ ひ こ
古河 克彦

- ① まちづくり整備課（復興拠点道路事業改築工事の監督員ほか）
- ② 神奈川県
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

浪江町

どんな形でもいいから、復興事業に携わりたいという思いがあったのでチャレンジしました。浪江町では、先輩が、先駆けて働いていたので心強い限りです。福島には、少し足を伸ばせば雄大な自然がたくさんあるので、観光するのも楽しみです。職場の方々は、気軽に挨拶していただけるので、打ち解けやすかったです。これから休みを大いに利用して、いろんな場所を訪れてみたいです。



お お の つ と む
大野 勉

- ① 都市計画課（新地駅周辺の復興事業）
- ② 千葉県
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

新地町

被災地での基盤整備が進み、箱モノ建築が本格化されることを知り、今までの経験を復興に役立てようと思いを挙げました。

福島県は千葉県とは異なり、山や溪谷があり、自然豊かな美しいところだと感じました。

こちらに来てからは、山登りを始めて、週末は山に登り温泉に浸かることが日課となっています。

また、役場の若手職員に誘われ、フットサルやスキーを行い、イベント等に誘われ充実した日々を過ごしています。



役場の職員と休日の様子

新地町・飯舘村

新地町

さとう たけお
佐藤 丈夫

- ① 復興推進課（土木設計積算）
- ② 福島県（新潟県三条市）
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

昨年度はサブ的な立場でしたが、今年度は大きな工事を担当することになり責任の重さを感じております。郷里三条市は内陸で海浜関係業務はなく、港湾の占用等初業務もあり気を引締めていきたいと思っています。3月新地町植樹祭では、三条から凧協会を招きイベントを盛り上げていただきました。

昨年近隣の温泉20ヶ所ほど訪ね、また郡山を皮切りに県内外の街を探訪し冬はスノーボード三昧でした。新潟の湿雪と違い粉雪が心地よく今年も楽しみです。



あいざわ かずたか
相澤 和孝

- ① 住民課生活支援係松川事務所（仮設住宅管理等）
- ② 群馬県高崎市
- ③ 平成30年4月2日から平成31年3月31日まで

飯舘村

震災後、災害時に役立てる為にと防災士の資格を取得した経緯もあり、今回の被災地派遣の件でお声を掛けていただきました。

現在、応急仮設住宅で避難者の方々と一緒に暮らしていますが、入居者から「遠くから来て大変だ」と、親切に接して頂き心が和みます。任務が終了する最後の日まで避難者の方々の力になる事と、福島美味しい食べ物やお土産などを発掘し、地元で福島のPRに努めたいと思っています。



Information

被災市町村 復興状況視察事業

8月2日（木）、3日（金）に、全国の自治体等関係者58名に参加いただき、『被災市町村復興状況視察事業』を開催しました。

被災自治体職員等の説明を受けながら、被災地の復興状況を見ていただいたほか、被災自治体に派遣いただいている職員との面談を実施しました。

福島県環境創造センター

福島第一原子力発電所構内（車内より）



Jヴィレッジ

交流会



時が止まったままの双葉町役場



参加者の声

考えていた以上に、復興が進んでいない。

自治体によって、復興の進み具合にかなり差があると感じた。

自治体職員の方々の復興に向けた熱意を感じた。

避難指示が出ていた区域は、未だ手つかずであることに驚いた。

被災からの復興状況を始め、被災地の現状を肌で感じる事ができて良かった。